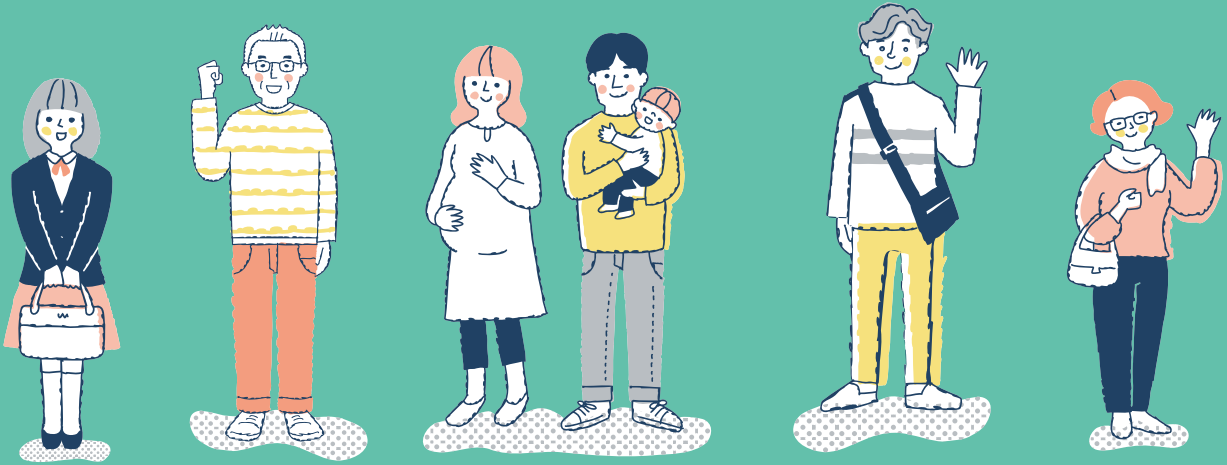


# 旭市の財政を 分かりやすく解説します



## 令和8年度 予算特集



令和8年度予算のくわしい内容は、市ホームページで確認できます。  
問い合わせ先 財政課財政班(☎62-5316)



# 令和8年度 旭市の予算

「みんなで創る未来 ず〜っと大好きなまち旭」を目指して



一般会計予算は

**328億2,000万円**

旭市の会計には、一般会計と4つの特別会計、3つの公営企業会計があり、それぞれの会計ごとに予算が組まれています。

全会計の予算総額は560億1,824万8千円で、内訳は一般会計が328億2,000万円、特別会計は4つを合わせて192億2,000万円、公営企業会計は3つを合わせて39億7,824万8千円となりました。

歳入(収入)

- 市税 ●国などからの交付金(地方交付税など) ●国庫・県支出金
- 市債 ●使用料、手数料 など

歳出(支出)

- 子育て世帯、障がいのある人、高齢者へのサービス ●ごみの処理 ●職員の給与
- 商工業や農水産業の振興 ●道路や公園などの整備 ●借金の返済 など

## 一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類のお財布

一般会計		令和8年度予算	前年度予算	
福祉や教育、道路整備など、市の基本的な事業を行うための会計		<b>328億2,000万円</b>	342億円	
特別会計		令和8年度予算	前年度予算	
国民健康保険のように、保険料を徴収して特定の事業に充てている場合など、一般会計と区別する必要がある事業の会計		<b>192億2,000万円</b>	193億4,500万円	
内 訳	病院事業債管理	38億4,500万円	43億8,000万円	
	国民健康保険事業	事業勘定	80億3,400万円	80億1,200万円
		施設勘定	8,100万円	8,300万円
	後期高齢者医療	10億7,200万円	8億8,300万円	
介護保険事業	61億8,800万円	59億8,700万円		
公営企業会計		令和8年度予算	前年度予算	
民間企業のように、利用料金などの収益で運営している事業の会計		<b>39億7,824万8千円</b>	31億9,031万1千円	
内 訳	水道事業	29億2,471万2千円	21億6,165万5千円	
	公共下水道事業	9億4,506万6千円	9億584万円	
	農業集落排水事業	1億847万円	1億2,281万6千円	

令和8年度 予算総額

**560億1,824万8千円**

(前年度比 ▲7億1,706万3千円)



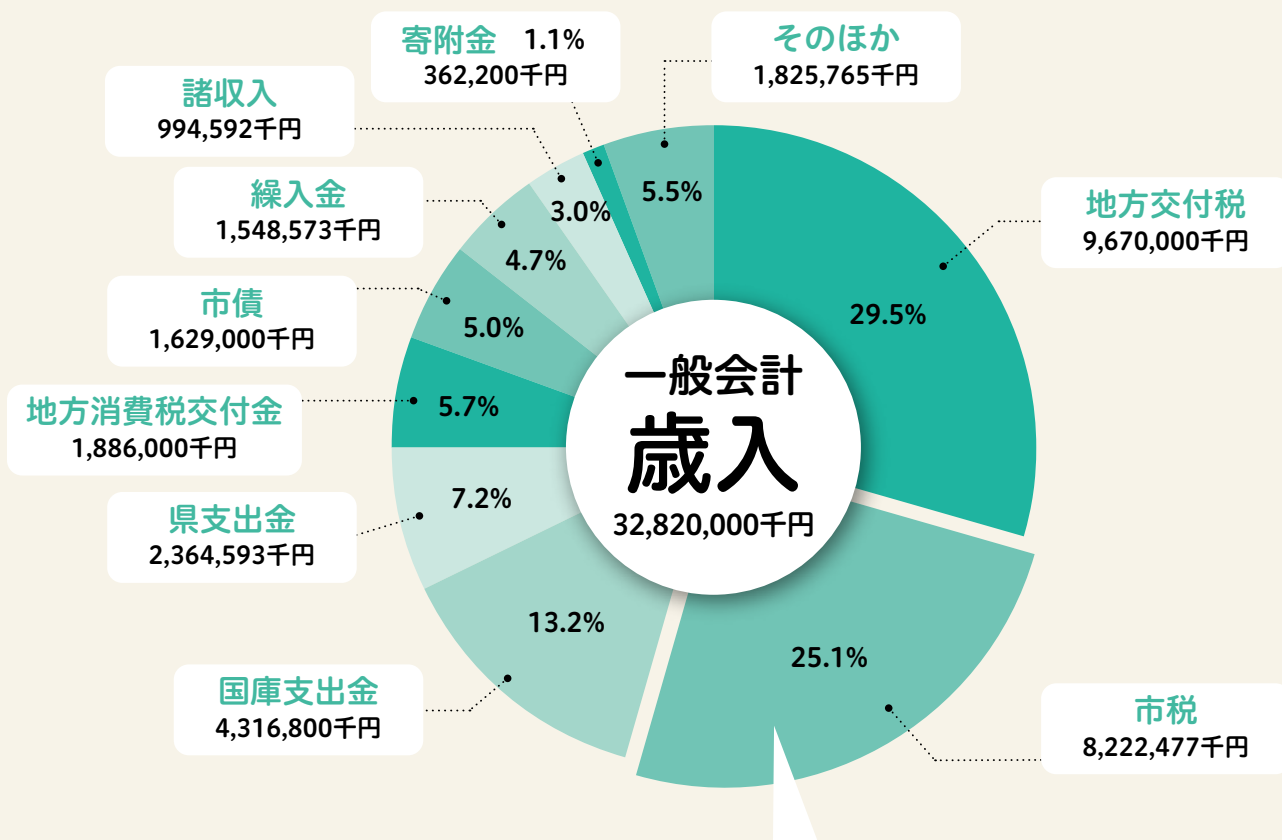
## 一般会計予算を見てみよう



# 歳入の内訳



市税は82億2,247万7千円で、個人市民税の増収などを見込み、前年度から3億2,661万7千円(4.1%)増額となりました。歳入で最も大きな割合を占める地方交付税は96億7,000万円で、うち普通交付税を85億2,000万円、特別交付税を11億5,000万円と見込み、前年度から3億2,000万円(3.4%)の増額となりました。国庫支出金は43億1,680万円で、前年度から3億1,581万円(6.8%)の減額、県支出金は23億6,459万3千円で、前年度から1億9,561万円(7.6%)の減額となりました。市債は16億2,900万円で、事業の完了などに伴い、前年度から10億8,620万円(40.0%)の減額となりました。



市民1人当たりが納める市税  
**135,000円**  
※千円未満は四捨五入。

市税予算額8,222,477千円 ÷ 人口60,909人  
(令和8年3月1日現在)

### 市税の内訳

- 個人市民税 3,483,060千円
- 固定資産税 3,298,572千円
- 市たばこ税 555,459千円
- 法人市民税 349,073千円
- 都市計画税 268,288千円
- 軽自動車税 257,182千円
- 入湯税 10,843千円

※都市計画税は、都市計画区域内(旭地域)の土地や建物に課税されています。

### 市税の使い道は決まっているの？

市税には、使い道が特に決められていない「普通税」と、使い道が決められている「目的税」があります。旭市には7種類の市税があり、そのうち都市計画税と入湯税の2つは目的税です。都市計画税は公園や街路の整備、公共下水道などの都市計画事業に、入湯税は消防施設や観光施設の整備、観光の振興などに活用します。

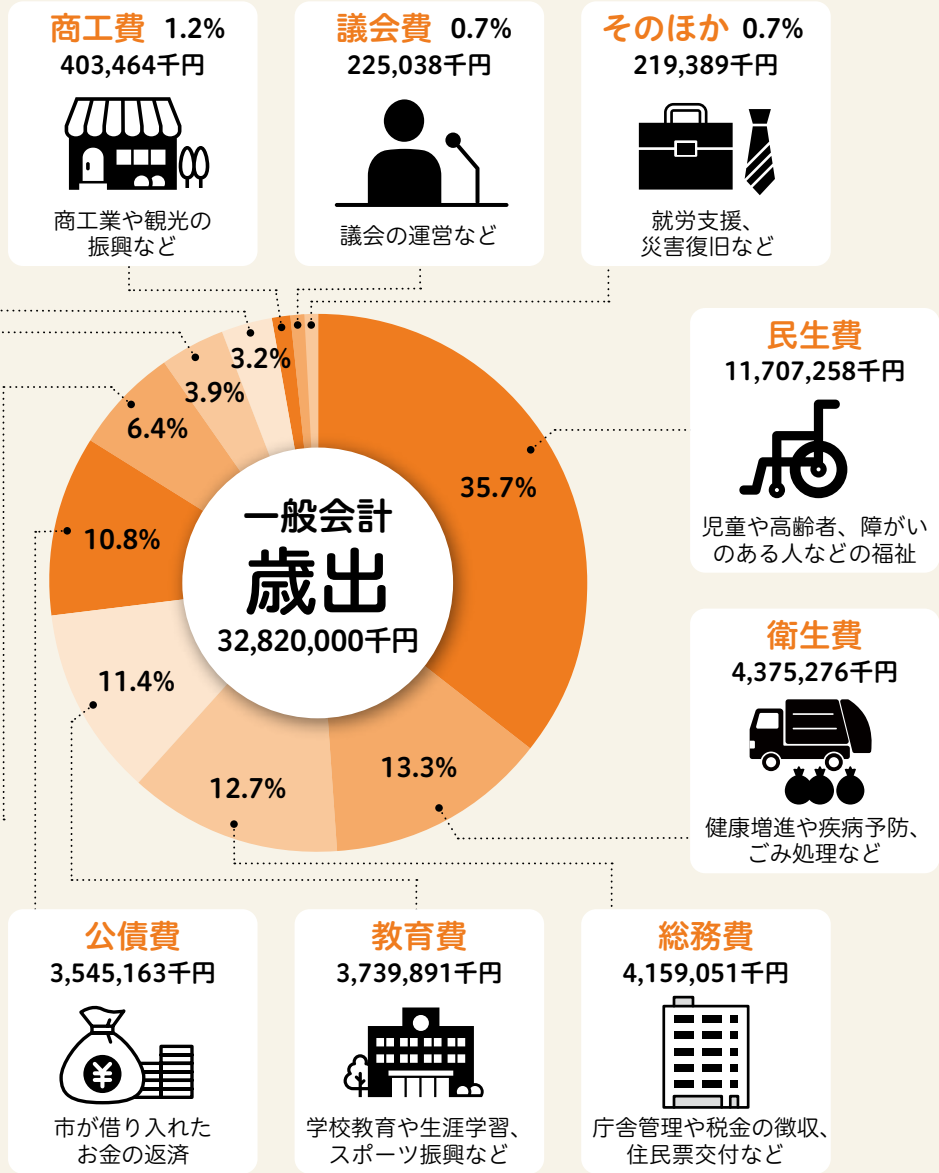


一般会計予算を見てみよう



# 歳出の内訳

目的別では、子育て支援や福祉サービスなどに活用される民生費が、全体の35.7%を占めています。次いで衛生費が13.3%で、市民の健康づくりやごみ処理などに活用されます。総務費は12.7%で、庁舎管理やコミュニティバスの運行などに、教育費は11.4%で、小・中学校や文化・スポーツの振興などに活用されます。公債費は10.8%で、市が借り入れたお金の返済に充てられます。土木費は6.4%で、道路や公園の整備などに活用されます。



**農林水産業費**  
1,054,212千円

農業や水産業の振興など

**消防費**  
1,289,507千円

消防、防災対策など

**土木費**  
2,101,751千円

道路や公園の整備など

**商工費** 1.2%  
403,464千円

商工業や観光の振興など

**議会費** 0.7%  
225,038千円

議会の運営など

**その他** 0.7%  
219,389千円

就労支援、災害復旧など

**民生費**  
11,707,258千円

児童や高齢者、障がいのある人などの福祉

**衛生費**  
4,375,276千円

健康増進や疾病予防、ごみ処理など

**公債費**  
3,545,163千円

市が借り入れたお金の返済

**教育費**  
3,739,891千円

学校教育や生涯学習、スポーツ振興など

**総務費**  
4,159,051千円

庁舎管理や税金の徴収、住民票交付など



市民1人当たり  
に使われるお金  
**539,000円**  
※千円未満は四捨五入。

一般会計予算額32,820,000千円÷人口60,909人  
(令和8年3月1日現在)

市民1人当たりに使われるお金の内訳

- |       |          |          |         |
|-------|----------|----------|---------|
| ● 民生費 | 192,200円 | ● 消防費    | 21,200円 |
| ● 衛生費 | 71,800円  | ● 農林水産業費 | 17,300円 |
| ● 総務費 | 68,300円  | ● 商工費    | 6,600円  |
| ● 教育費 | 61,400円  | ● 議会費    | 3,700円  |
| ● 公債費 | 58,200円  | ● その他    | 3,600円  |
| ● 土木費 | 34,500円  |          |         |



# 市の予算を家計に置き換えてみると

一般会計予算額を年収536万円※の家計に置き換えてみました。

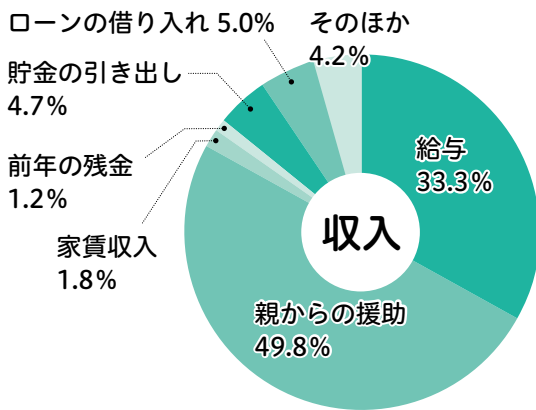
※令和6年国民生活基礎調査の1世当たりの平均所得金額を参考に算出。



## 収入

給与 (前年度比) 179万円(15万円)	●市税 ●地方譲与税 ●交付金
親からの援助 267万円(8万円)	●地方交付税 ●国庫・県支出金
家賃収入 10万円(1万円)	●分担金、負担金 ●使用料、手数料 ●財産収入 など
前年の残金 6万円(▲2万円)	●繰越金
貯金の引き出し 25万円(▲4万円)	●繰入金
ローンの借り入れ 27万円(▲16万円)	●市債
そのほか 22万円(2万円)	●寄附金 ●諸収入

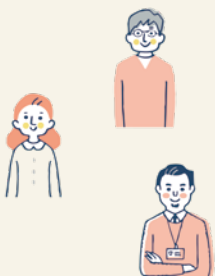
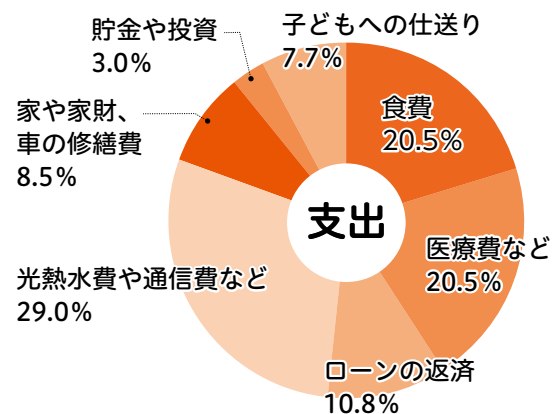
合計 536万円



## 支出

食費 (前年度比) 110万円(5万円)	●人件費※1
医療費など 110万円(5万円)	●扶助費※2
ローンの返済 58万円(6万円)	●公債費※3
光熱水費や通信費など 155万円(1万円)	●物件費※4 ●補助費等※5
家や家財、車の修繕費 46万円(▲17万円)	●維持補修費 ●普通建設事業費※6
貯金や投資 16万円(同額)	●積立金※7 ●投資及び出資金など
子どもへの仕送り 41万円(2万円)	●繰出金※8

合計 536万円



- ※1 人件費…職員の給与や議員報酬など
- ※2 扶助費…生活保護、障がい者支援、医療費助成、児童手当の給付などに使うお金
- ※3 公債費…国や金融機関から借りたお金の返済に使うお金
- ※4 物件費…光熱水費や消耗品費、業務委託料など
- ※5 補助費等…各種団体への補助金や負担金など
- ※6 維持補修費、普通建設事業費…道路や公園、学校など公共施設の建設や改修などに使うお金
- ※7 積立金…市の貯金(基金)に積み立てるお金
- ※8 繰出金…特別会計の歳入を補うために使うお金



# 令和8年度の主な事業

令和8年度一般会計予算の主な事業を「旭市総合戦略」の4つの基本目標ごとに紹介します。



**新**…新規事業  
**拡**…拡充事業

## 1 魅力ある雇用を創出し、安心して働けるまちづくり

農水産業・商工業・観光振興のための事業など

地域女性デジタル人材育成推進事業	3,653千円	在宅での就業を希望する女性を対象に、AIの活用やウェブデザインなどのデジタル技術を習得するためのセミナーを開催するほか、就業機会の提供・紹介などの支援を行います。
道の駅季楽里あさひ管理費	9,580千円	道の駅「季楽里あさひ」の施設管理を行い、市の基幹産業である農水産業の発展と地産地消の推進、観光立地としての魅力向上を図ります。
<b>拡</b> 有害鳥獣駆除事業	7,588千円	旭市鳥獣被害防止計画に基づき、カラスやイノシシなどの鳥獣の駆除を行い、農産物への被害を防止します。本年度から、地元住民による鳥獣被害対策実施隊を設置し、地域ぐるみで取り組みます。
<b>拡</b> 海業推進事業	11,619千円	飯岡漁港周辺のにぎわいの創出と漁業振興のため、旭市海業推進地域協議会を中心に各産業の連携を図り、未活用の地域資源を有効活用した事業を推進します。
事業者デジタル化支援事業	6,009千円	市内の民間事業者を対象に、デジタル化への関心を高めるための啓発セミナーの開催や専門家による伴走支援を行い、デジタル技術の導入を支援します。
<b>拡</b> 商業活性化推進事業	14,179千円	空き店舗を活用する際の改修費などの補助や、商店街が行う環境整備やイベントなどを補助します。本年度は、実店舗の開業を目指す人に試験的な短期出店費用を助成し、新規出店を後押しします。

## 2 結婚・出産・子育ての希望がかない、誰もが生きがいを持てるまちづくり

子育て支援・学校教育・生涯学習の充実のための事業など

<b>新</b> 乳児等通園支援事業	12,497千円	子どもの育ちを応援し、子育て世帯への支援を強化するため、3歳未満の未就園児を対象に、月10時間までの利用可能枠の範囲内で、就労条件などを問わず時間単位で保育所などを利用できる、新たな制度の運用を始めます。
<b>新</b> 民間教育・保育施設改築等事業	30,000千円	適切な教育・保育サービスを提供できる環境を整備するため、民間保育所(干潟町中央保育園)が行う、園舎などの施設整備にかかる事業費の一部を補助します。
<b>拡</b> 放課後児童クラブ運営事業	330,412千円	保護者が就労などのため昼間家庭にいない児童に対し、放課後に適切な遊びや生活の場をつくります。質の高い育成支援と利便性の向上を図るため、本年度から、業務の一部を民間事業者へ委託します。



海業を進める飯岡漁港周辺

良好な保育環境を整備

海上統合小の予定地 嚶鳴小

防災スポーツなどを開催

<b>拡</b> 公立保育所運営費	615,705千円	市内9か所の公立保育所の管理・運営を行います。本年度は、児童の安全確保と保育の透明性を高めるため、全ての公立保育所にAEDと見守りカメラを導入します。
<b>新</b> 保育所DX推進事業	12,236千円	デジタル技術を活用して、保育現場の業務効率化と保育の質の向上を図ります。本年度は、職員と保護者との円滑な情報共有のため、登降園の管理や保護者との連絡などを行うシステムを導入します。
子育て世代包括支援事業	15,867千円	こども家庭センターで、妊産婦や乳幼児の健康の保持・増進に関する包括的な支援を行います。母親への産後ケアや、妊娠期・子育て期に生じる健康や育児に関する不安解消などのためのオンライン医療相談を行います。
<b>拡</b> 妊婦・乳幼児健康診査事業	45,637千円	妊婦・乳幼児の疾病などを早期に発見するための各種健診や、健康を保持するための日常生活指導などを行います。本年度から、5歳児健康診査を行い、子どもの発達の特徴を早期に発見し適切な支援につなげます。
<b>拡</b> 学校再編推進事業	16,052千円	少子化で児童・生徒数が減少する中、将来を担う子どもたちにとって公平で充実した、より良い教育環境を確保するため、学校の再編を進めます。
<b>拡</b> 小学校統合整備事業	923,607千円	令和9年4月の「ひかた椿小学校」と令和11年4月の「(仮称)海上地域小学校」の開校に向けて、校舎や体育館などの改修工事や実施設計を行います。
<b>拡</b> 部活動地域クラブ運営事業	25,985千円	令和8年9月からの休日部活動の地域移行に向けて、地域における受け入れ体制の整備を進めます。また、移行後のクラブ運営を民間事業者に委託し、効率的に運営を行います。
大原幽学遺跡史跡公園整備事業	125,998千円	大原幽学遺跡整備基本計画に基づき、遺跡の保存と活用を図るため、斜面保護や園路などを整備します。本年度は、大型車両用の駐車場や障がいのある人が利用しやすい専用駐車区画などを整備します。
スポーツ振興事業	23,420千円	スポーツイベントの開催や各種団体への支援を行います。また、障がいのある人も気軽にスポーツに触れ、楽しさを実感できるよう、パラ卓球拠点活動を通じてパラスポーツの普及を図ります。
学校給食費の完全無償化	学校給食費負担軽減額 △259,694千円	子育て世帯の経済的負担を軽減するため、児童・生徒の学校給食費の無償化を引き続き行います。

# 3 ひとの定着・還流・移住の流れをつくり、人々が集いつながるまちづくり

定住交流の促進、道路の整備、良好な生活環境をつくるための事業など

<b>拡</b> 企画事務費	33,256千円	重要な将来事業などの企画調整や広域行政に係る事務を行います。本年度は、成田空港の機能強化に伴うまちづくり方針基礎調査や、千葉工業大学との域学連携などの事業を新たに進めます。
<b>拡</b> シティプロモーション推進事業	16,311千円	映画やドラマなどのロケ支援や、作品の舞台を訪れてもらうロケツーリズムを推進します。そのほか本年度は、Instagramなどでの情報発信を専門とする民間事業者を活用することで、市の魅力を効果的に発信します。

<b>拡</b> 移住・定住促進事業	50,315千円	定住を目的とした転入者や市内在住の若者世帯に対して、住宅取得時に奨励金を交付します。本年度は、移住サポートセンターを民間事業者に委託し、移住希望者の相談体制を強化します。
<b>拡</b> 畜犬等適正管理指導事業	5,497千円	狂犬病の予防注射の実施や、犬猫の不妊・去勢手術費用の助成などを行います。本年度から、飼い主がいない猫に対する不妊・去勢手術費用についても、新たに助成します。
冠水対策排水整備事業	169,385千円	道路冠水が多発する地域において、効果的な排水ができるよう整備工事を行い、集中豪雨や台風などによる浸水の解消や緩和を図ります。
<small>きょうりょう</small> 橋梁長寿命化修繕事業	119,515千円	橋梁の法定点検結果に基づき策定した、予防保全型の修繕計画に沿って、維持補修工事を行います。
震災復興・津波避難道路整備事業	8,385千円	東日本大震災で津波被害を受けた地域における避難道路の整備や、被災地域の復興のための道路を整備します。
大間手線道路改良事業	124,984千円	防災機能の確保や交通アクセス向上のため、主要地方道銚子旭線と東総広域農道を結ぶ道路の改良工事を進めます。
空き家等対策推進事業	10,791千円	適切に管理されていない空き家などの発生抑制・解消・活用につなげるため、空き家などの改修・解体費の補助や、空家・空地バンクを運用します。

# 4

## 将来にわたって元気な地域をつくり、安全・安心で暮らしやすいまちづくり

保健・医療の充実、地域福祉や高齢者福祉の充実、防災力の強化のための事業など

自治体DX推進事業	10,766千円	引き続き民間企業からデジタル専門人材を受け入れ、デジタル技術による行政事務の効率化を進めるほか、電子申請システムなどを活用して市民サービスの向上を図ります。
<b>拡</b> 電算システム運用事業	343,952千円	市の業務を行うために必要な電算システムの運用管理を行います。本年度は、自治体の共用データをインターネット上で市民や民間事業者に公開する、公開型GIS(地理情報システム)の整備を進めます。
地域医療体制整備事業	24,392千円	子どもを安心して育てられる環境づくりを推進するため、市内に小児科を新たに開設する医療機関に対して、開設に要する費用を補助します。
<b>新</b> がん患者アピランスケア支援事業	1,000千円	がん患者の心理的・経済的な負担の軽減や社会生活を支援するため、がん治療による外見の変化を補完する、ウィッグや医療用補整具の購入費用などを助成します。
<b>拡</b> 感染症予防対策事業	191,118千円	対象疾病のまん延防止と重症化予防のため、予防接種法に基づく定期接種の体制整備や、任意接種にかかる費用の一部を助成します。本年度から、新たにRSウイルスワクチンの定期接種を行います。
<b>拡</b> 消防施設整備事業	43,962千円	消火活動に必要な施設を整備し、消防力の強化を図るため、耐震性貯水槽や消火栓を新設するほか、消防水利の安全管理と維持補修を行います。
<b>拡</b> 消防車両整備事業	26,127千円	災害から市民の生命や財産を守るために活動する消防車両を整備します。本年度は、火災現場などで消防隊の活動を円滑・的確に指揮するために、消防署本署に配備している指揮車1台を更新します。
<b>拡</b> 防災体制強化事業	15,897千円	災害に強いまちを目指し、防災体制を強化します。防災スポーツなどのイベントの開催や、本年度は、被災者への早期・的確な支援を行うため、被災者情報を一元管理する被災者生活再建支援システムを導入します。



このページを抜き取って利用してください。